

夢咲かせよう 立志の丘で

北海道上川郡愛別町 訪問視察団

11月27日(木)の午前中、北海道上川郡愛別町の訪問視察団の皆さんが本校に来られました。

人数は4名で、愛別小学校、愛別中学校、愛別教育委員会の方々でした。愛別町は北海道のど真ん中に位置し、人口3,200人くらいの町です。町内には1小学校、1中学校があります。

25日に秋田市に入り、27日本校に来校し、終わりとなります。

到着してからすぐに、平成24年度公開研究会の紹介ビデオと今年のひまわり開花のビデオを見てもらいました。

全学級授業参観の後、学校経営、にしせんプロジェクト等について協議し、11時45分頃にお帰りになされました。

協議で話題に上がったことは次の事柄です。

- ・一人勉強ノートについて、その内容とシステムについて。
- ・昨年度取り組んだ「ローテーションノート」について。現在の3年生が2年生のときに、班ごとに一人勉強ノートを書いて回した方法について。
- ・「学び合い」は「分からなさの共有」とあったが、誰が言われた言葉か、について。
- ・廊下環境等、「継続する美術の時間」について。生徒作品を次から次へと展示していくことは、至難の業であるが、本校はそれが継続されている、という賞賛でした。
- ・図書館支援員システムについて。図書室を案内した際に、整理整頓が行き届いており、このシステムの内容について、問い合わせが教育委員会の方からありました。
- ・T日課について。3年生の実力テストの際に、60分授業3時間、50分授業2時間はなぜか、という質問に対して、秋田県の高校入試の時間に合わせて、1・2年生もこの日だけは、T日課で普通授業を行っている、と答えました。
- ・学年や学年を超えた教室環境が統一されている部分があるが、これは校務分掌で誰かが提起しているのか、という質問に対して、4月に環境主任が全職員に教室環境の大きいところを提示



し、あとは学年部に任せている、と答えました。
・「にしせんプロジェクト」について、今年度も継続しているか、という問いに対して、過去2年間同様、年に2回小中学校職員が4つの班に分かれて意見交換を行っている、と答えました。また、教育委員会の支援はあるか、という質問もあったのですが、財政的に見える支援はないが、進捗(しんちょく)状況などのチェックなどがある、と答えました。

国立教育政策研究所 指定 教育課程 美術 公開授業研究会

12月2日(火)、標記公開授業研究会を行いました。前日までの小春日和はどこへやら。当日は、天気予報通りの大寒波来襲。その寒波のせいで、交通機関が乱れ、静岡県から来る予定だった先生が、午後の授業の最後5分前に到着したそうです。新幹線の遅れのためだったようです。

その寒波にもめげず、2年生の各学級は期待以上の授業を行ってくれました。

最初に、午前中、国立教育政策研究所調査官や県の指導主事をお迎えして、2年A組で授業を行いました。午後の公開授業研究会の内容と同じ授業です。

内容は、「ふるさと再発見！創作和菓子をつくろう」です。場所は美術室でした。

ワールドカフェスタイル(グループが次々と机を回って意見交換を行います。本当のスタイルは一人が残って、前のグループの考えをまとめていきます。)を模した方法で、3回、春夏秋冬の四季からイメージする「西仙北のよさ」を鉛筆で机の真ん中にあるワークシートに書いていきます。春と言えば、・・・夏と言えば・・・、など4人がめいめいの思いやアイデアを書きます。

次に、そのワークシートに書かれてある言葉を色鉛筆から好きな色、あるいはイメージする色を取り出し、○で囲みます。最後に、自分の好きな季節からイメージした和菓子の絵や言葉を書いていきます。このときに、助かったのは昨年の先輩たちの作品や、材料となるものを実際に手にとって見ることができたことです。

自分の頭のイメージはできているのだけれども、



それを友達に言葉で伝えられなくて、悩んでいる男子生徒がいました。彼は、他の友達に自分の思いを伝えようとするのですが、言葉では無理で、紙を折って伝えました。でも友達は「何が言いたいのか？」と聞き返します。悩み抜いたあげく、最後は、自分の思いを絵に表すことができました。

いよいよ午後5時の研究会。2年B組の授業です。場所は多目的ホールです。参加者の数は、およそ70名くらいでしょうか。この大人数にも負けずにB組の生徒は生き生きと自分たちのイメージを働かせました。

B組では、先輩たちの作品の他に、「秘伝の書」という虎の巻が田中先生から提示され、生徒はそれに群がり、見ていました。授業の最後に振り返りがありましたが、次の男子生徒の意見が印象的でした。

「雪は、大人たちにとって、ああ嫌だなあ、と思う部分があるかもしれませんが、雪の結晶はきれいで、見方によっては雪もイメージがよくなると思います」

参観された先生方の感想を抜粋して掲載します。

- ・発想・構想という興味深い場面をワールドカフェスタイルというとても面白い手法で深めていくという、大変参考になる授業を見せていただきました。ありがとうございました。
- ・子どもたちの表情が明るくリラックスした感じがよくて、とても楽しく見させていただきました。
- ・クラスの雰囲気がよく、一人一人楽しんで活動しているようだった。
- ・ワールドカフェで、グループ移動していくため新しい発見ができるのがよかった。
- ・大きなワークシートに言葉を発しながら書き込んでいた。そこからイメージをふくらませてよかった。席の工夫で4人の学び合いになっていた。女子がカラスをオレンジで囲んだ。「夕日」からイメージしたという説明で他の生徒が納得していた。お互いの考えを理解できてよかった。
- ・真面目に課題に向かっている姿で自校の活動が窺える。
- ・ワールドカフェのように机を移動するのがよい。ワークシートで共有化することで発想が膨らむ。また「西仙北」をテーマに、題材に向かっていたよかった。
- ・「秘伝の書」子どもがワクワクするネーミングがよかった。また、完成形のイメージを作った後に見せていてよかった。ワークシートには振り



返りを次回のがんばりたいことを記入させていた。「次回のがんばりたいこと」を記入させるのはよいと思った。

- ・日々の生活の中から美的体験を増やそうという先生の姿が素晴らしいと思う。先生の適切な声かけで、生徒が迷わずねらいに向かっているのがよく分かった。

この後、約90名の参加者で、美術の調査官の講演を聴きました。熱のこもった講演で、時間があっという間に過ぎました。

遠くからお越しの皆様、また県内の皆様には、ご来校いただき、誠にありがとうございました。

PTA授業参観「情報モラル教室」

12月3日(水)はPTA授業参観で、全校生徒と親御さんが一堂に会し、千葉薫氏(秋田県教育委員会インターネットセキュリティ推進会議委員 コンピュータ・アシスト・デベロップメント有限会社 代表取締役)を講師として「情報モラル」について研修しました。研修内容は、次の事柄です。

情報モラルについて「最近の多いトラブル」

- ・友達同士のプロフのはずが、みんな知っている。
- ・間違いメールを親切に教えてあげたら、大量の迷惑メール。
- ・無料のはずのネットゲームで高額請求。
- ・ネットストーカー。
- ・写真から場所が分かる。
- ・好きなコミックをネットで紹介したら警察が。
- ・インターネットの百科事典で調べたら、テストで間違いに。

「写真から場所が分かる」では、総務省のビデオで、知らない女子生徒が公園で踊っているのを隠し撮りし、それをネットにアップした中1男子が、今度は自分が特定されて、にっちもさっちもいなくなる、という内容でした。些細(ささい)なことから、おおごとになり、最後は自分の首を絞めてしまう、という事例でした。

講演が終わってから、3人の生徒に感想発表をしてもらいました。

◇3年生 嵯峨千優さん

インターネットや携帯電話は楽しいのですが、使い方を間違えると危険だということが分かりました。トラブルが起きてから、知らなかったでは済ませられないことなので、安全に使いたいと思いました。

◇1年生 佐々木海智さん

ネットは楽しいと思っていましたが、一つ誤ると怖いということが分かりました。安全な使い方を心がけていきたいです。

◇2年生 鈴木遥菜さん

私はSNSを使っているのですが、これからも安全に利用していきたいと思いました。

